



みんなの力でみんなの幸せを

s a w a r a b i

さわらび

2 理事長あいさつ

4 **医学講話** 肥満はメタボリックシンドロームへの出発点

◆名古屋大学医学部 名誉教授

小島 清秀

8 **特集** みんなの力でみんなの幸せを
—世代と障害の種別を越えた交流、助け合いの風景

2010
vol.441

1



謹んで初春のお慶びを

申し上げます

さわらび会は

みんなの力でみんなの一生の幸せを守るために

活動していますが

どのように社会が変わっても

皆様のお役に立てるように

広く視野をひろげる努力を重ねて

未来永劫に活動してまいります

日頃のご支援とご厚情に深く感謝申し上げます



さわらび会 理事長

山本 孝之

二〇一〇年 元旦



長寿医学研究所

研究通信

news of study

Vol. 24

長寿医学研究所 副所長

赤津 裕康

【国際学会出張報告】

さる十二月十日
一日〜十五日に
イギリスのバー
ス（お風呂の
Bathの語源になっ
た町です）で第
一回国際生物学



医学金属キレート学会が開催され、
参加及び発表をする機会を得ました。
本年七月のさわらびに掲載いたしま
した共同研究でご指導いただいたい
る関係で、本学会委員の滋賀医大分
子神経センター遠山教授からのご推
薦で、新エネルギー・産業技術総合
開発機構（NEDO）の知的基盤研究
開発事業 脳内金属イオン濃度測定
の結果を報告してまいりました。参
加者は化学の専門家が比較的多く、

私の発表は医学的側面が大きかった
ので若干のギャップは感じましたが、
それでも神経変性症（主にアルツハ
イマー病とパーキンソン病、運動失
調症）と金属との研究発表が九十演
題中十以上ありました。

そもそも金属キレートと言う言葉
自体、馴染みが薄いのではないでしょ
うか。ヒトをはじめ生物には微量の
金属が必要なのですが、それ自体が
単独で作用することはあまりありま
せん。赤血球で酸素を運搬するヘモ
グロビンの中心には鉄があります。
このように生体物質には微量金属を
ハサミのように挟んで（キレートと
はハサミ状のと言ふ意味があります）
複合体を作つて重要な作用を担って
いる物質が沢山あります。

今回、アルツハイマー病を中心と
した脳内での微量金属量の測定結果
を報告いたしました。アルツハイ
マー病の原因物質であるAβは銅や
亜鉛と反応して脳に溜まってくる可
能性が強く考えられています。その
ため、キレート製剤がアルツハイマー
病治療薬候補として検討されており、
その治験の紹介もありました。ただ、

我々の解析結果は脳内量がアルツハ
イマー病で低下しており、試験管レ
ベルの結果との違いをどのように説
明するかなどの質問も受けました。

NEDOでのプロジェクトもあと一年
ですが、なんとかそのあたりの解明
ができればと考えています。幸運な
ことにイギリスのグループがモデル
動物で我々と同様な結果を報告して
おりその解析の正しさを裏付けられ
たと思つています。ただ、その金属
代謝経路の研究では競合相手もいる
ことを認識させられ、早急に手を打
たないといけないと痛感いたしました。

遠山先生はアルツハイマー病脳で
ラクトフェリン（母乳や唾液などに
含まれる鉄キレートです）発現が上
昇している結果報告をなされました。
ラクトフェリンとアルツハイマー
病の関係での報
告は遠山先生達
が最初であり、
今後はその病態
との関係解明の
研究に期待が寄
せられていました。



今回は第一回
目で参加者も一
五〇名程度の、
国際学会として
はこじんまりと
した会でしたの
でいろいろ南国
の先生方とも交流することができま
した。



また内容的にもマイナーな分野で
はありましたが、医学・生物学の中
でも未解明であるが非常に重要な分
野で、これからの研究成果が期待さ
れ、新たな流れのできる分野になる
のではないかと感じました。

今回は参加・発表させていただ
いたことで研究所、病棟の皆さんには
一週間不在となり、大変ご迷惑をお
掛けいたしました。発表までには
NEDOで共同研究をさせていただ
いている株式会社GPOの方々、滋賀医
大の遠山教授、病理診断をいただき
ました愛知医大 橋詰教授には甚大
なご協力をいただきました。また何
よりも病理解剖にご協力いただきま
した患者様、ご家族の方々から心から
感謝いたします。



医学講話

肥満はメタボリック シンドロームへの出発点

名古屋大学医学部 名誉教授

小島 清秀

明けましておめでとございます。本年も宜しくお付き合いください。一昨年の後半にアメリカ発の世界同時不況が起こり、先進国は勿論のこと、発展途上国においてもその影響は少なくありません。この様な政局下ですが、今年は寅年、より良い方向に向かう一年にしたいものです。

バブルに踊り、知らず知らずのうちその食生活が西欧化し、飽食の時代を過ごしました。その結果としてメタボリックシンドロームと呼ばれる病態が蔓延してきました。世界的な人口の急増は食糧事情の悪化を起し、飢餓に苦しむ多くの人々を私共は抱えています。私共の食生活習慣の変化や、飽食に対する反省が

少ないのは恥すべき事と思います。その反省も込めて、メタボリックシンドロームの成り立ちに関する神戸大学春日教授らの研究グループの研究結果を中心に概説しましょう。

1) メタボリックシンドロームとは

死に直結する悪性の動脈硬化症の前駆症として耐糖能異常(2型糖尿病)、高中性脂肪血症、高血圧、肥満が一個人に集積する病態をメタボリックシンドロームといいます。それまで重要視されてきた高コレステロール血症という単独の危険因子を持った病態とは異なった定義で、動脈硬化を起す危険な病態として取り上げられるようになりました。このシンドローム(症候群)の背景や病体についての研究が進み、腹腔内脂肪組織の役割などが解明されるに

つれて、その発症機序も少しずつ明らかになってきました。

2) 栄養代謝に関する諸臓器の役割

脳は食欲の中樞で、グレリン、レプチンなどのホルモンの情報を受けて自律神経を通じて関係臓器の働きを制御します。消化管は食事により取り込んだ栄養素(糖質、脂質、蛋白質)の分解と吸収を行い、食欲に関するホルモンを分泌します。肝臓はインシュリンの働きを介して血糖値を一定に保つと共に、余分な糖分を貯蔵します。又、胆汁を分泌し、食事性の脂質の吸収を助け、肝細胞内では身体に必要な脂質や、蛋白質の素材を作り体内に提供します。膵臓は栄養素の分解酵素を分泌し、消化を助けるとともにインシュリンを始めとする各種ホルモンを分泌して生体の恒常性を維持します。腹腔内脂肪組織は食事より得たエネルギーを中性脂肪として蓄える貯蔵庫として働くとともに、ホルモンを産生、分泌して全身のエネルギーバランス

を調節します。

3) 脂肪組織の機能異常がインシュリン作用の低下(2型糖尿病)を招く

腹腔内脂肪組織は脂肪の貯蔵庫としての役割以外に、内分泌器官としてアディポカインと呼ばれるホルモンを産生分泌して、全身のエネルギーバランスを調整しています。内臓脂肪組織を構成する成熟脂肪細胞は総数が限られており、過剰な中性脂肪を蓄えるために細胞の肥大化(直径140~180μm)を起こ

します。許容量を越したエネルギー供給は脂肪細胞での脂肪分解を活性化し、これによって生じた遊離脂肪酸が血中に放出されます。血中に残存した遊離脂肪酸は肝臓に入り、超低密度リポ蛋白の合成を促し、高トリグリセリド血症を生じさせます。



更に、脂肪酸代謝産物は骨格筋でのインシュリンシグナルの伝達を障害して糖の利用を低下させます。肥

大した脂肪組織ではインシュリン作用を防げるアディポネクチンや、交感神経活動を介して昇圧作用を持つレプチンの産生が増し、逆にインシュリン感受性を高めるアディポネクチンの分泌量が低下します。一方、組織内の酵素拡散距離は100 μm位ですので、巨大化した脂肪細胞組織では細胞は慢性的な低酸素環境に置かれた状態になります。酸素不足により脂肪細胞は炎症を起こす種々の物質を分泌し、組織内にマクロファージの浸潤を起こし、局所的な炎症を誘導してアディポカインの産生異常を起こすと考えられています。アディポカインの産生異常はインシュリンシグナルの伝達障害、即ちインシュリン抵抗性(2型糖尿病)を引き起こすこととなります。実際脂肪細胞の大きさがインシュリン抵抗性の臨床マーカーとして有用であ

り、2型糖尿病の予測因子であることが報告されています。

4) 脂肪細胞の肥大化機構

インシュリンは栄養素(糖質、脂質、蛋白質)の代謝にとって重要なホルモンです。細胞表面の受容体を介してその情報が細胞内に伝達されます。伝達経路には多くの基質蛋白質が関与し、蛋白質のチロシン残基のリン酸化を介して情報が伝達されていきます。これらの蛋白質の中でチロシン磷酸化酵素1の下流にある蛋白質DPP-1が脂質を過剰に摂取したマウスの腹腔内脂肪組織で特異的に誘導され、活性化されていることが見出され、脂肪細胞の肥大化にはDPP-1の誘導と活性化が必須の条件であることが実験的に明らかになりました。又、肥満はペルオキシゾーム増殖剤応答性受容体PPAR-γのリン酸化修飾を介して起こることも示されました。ヒトでも同様な過程で脂肪細胞の肥大化、肥満が起こると推測されます。

5) 肥満への対策はメタボリック シンドローム発症を防ぐ

内臓脂肪組織の肥大化の徴候としての肥満に対する対策を考えねばなりません。生物は日々生体維持に必要な栄養素を取り入れ、消化して生体維持に必要な物質を配分し、余った物は貯蔵して万一に備える仕組みを持っています。これらの中枢は脳の視床下部にあります。消化管、肝臓、膵臓といった腹腔内臓器や、全身の筋肉の活動状態などが相互に種々なホルモンや自立神経などで連絡を取り合いながら、生体の恒常性を維持しています。この生体恒常性のバランスが崩れた時に肥満が起こるのです。肥満を起こさないためには

a) 栄養バランスの良い食事を心掛ける事、特に脂肪分の取り過ぎには注意。
 b) 飽食を慎み、腹六分目から八分目に止める事。
 c) 良く運動し、有酸素運動を心掛

けましょう。

日本の現代社会には脂肪と糖分に富んだご馳走が氾濫しています。食欲の趣くまま過剰に摂取すると肥満になります。自己規制が必要なのです。又、利便性を追求した結果、高度な自動車社会を将来し、ヒトの運動の原点である歩くことが疎かになり、運動不足を招く結果になりました。地球温暖化の問題もあり、車の使用を出来るだけ避けて歩く習慣を付けることも肥満防止には必要です。昭和三十年頃までは4 km位は普通に歩いていました。ヒトは自分の足で歩く事が自然であり、その様な習慣が健康を維持する上に必要な事と思えます。どうぞ皆様も便利な社会の風潮に流される事なく、自己規制を厳しくして健康を何時までも保ってください。

参考文献

T.Hosooka et al. Dok1 mediates high-fat diet-induced adipocyte hypertrophy and obesity through modulation of PPAR-γ phosphorylation. Nature Medicine 14:188-193,2008.

「輝く人の話を聴く会」

～青陵中学校での講演～

十二月十一日（金）に豊橋市立青陵中学校で「輝く人の話を聴く会」

にさわらび荘から相談員の藤原・渡邊（憲）、介護士の鈴木（杏）が講師として招かれました。

今回の講演では、青陵中学校一年生の授業の一環として、校区内で輝く人にお話を聴くことが企画されました。その中で中学生から福祉関係で働いている人に、仕事をする中で喜びを感じたり、気遣っていること、福祉の仕事に就いた経緯や理由、福祉の仕事での「働きがい」や「生きがい」についてお話が聴きたいと希望があり、今回の講演会の参加となりました。

まず相談員の二人から、さわらび荘やデイサービスなどの説明を行った後、介護士より介護の仕事についてのお話をさせていただきました。その内容は、介護の仕事に就いたきっかけはもともとお年寄りの方とお話

をするのが好きだったこと、また、日々介護の仕事に携わっている中で、

いかにお年寄りの方々が幸せに感じているか、そしてお年寄りの幸せを考えて仕事をしていく中で、お年寄りの方々に「ありがとう」と言っていただけることが、何よりもうれしく自分の笑顔につながり、お年寄りのために仕事をしていることが、実は自分自身の幸せにつながることをお話しました。

講演中、生徒の皆さんは熱心に話を聴かれ、介護の仕事に関心を持っていただけのことと思います。

（渡邊）



福祉村病院だより

◆12月3日、17日に病院大会議室にて、伊莉副院長が豊橋創造大学短期大学部専攻科福祉専攻（介護福祉士養成一年課程）の学生に対し、「医学的側面から見た認知症の基礎」「認知症に関する地域支援体制の実際」と題して講義を行いました。

◆病院相談室の正式名称「医療サービス室」が、医療機関における福祉の相談窓口という意味から「医療福祉相談課」に変更になりました。

連絡先：福祉村病院（0532）46-7511まで

◆福祉村病院の標榜科に「老年内科」「老年精神科」を追加しました。（坂柳）



●伊莉副院長の講義の様子

品川区民生委員協議会 「第二さわらび荘」見学

11月5日（木）東京都品川区大崎第一地区より、民生委員協議会32名の方々が、第二さわらび荘へ見学に來られました。

民生委員の皆様は、山本ゆかり専務理事と相談員より第二さわらび荘の概要説明を受け、ユニットの様子を見学したり、4階のお年寄りの方々がちょうどその時間に楽しんでいた運動会に参加されました。そこで、品川音頭を披露してくださり、入居者の皆さんと一緒に楽しいひと時を過ごしました。今後のますますのご活躍を期待しております。（林）



今回紹介されたロボットは、豊橋技術科学大学の寺嶋一彦教授と岡田



●寺嶋一彦教授が開発した全方向移動車椅子

十二月十四日、福祉村病院大会議室にて県産業労働部新産業課の事業「あいROBO応援キャラバン」が行われました。この事業は医療福祉分野の最先端ロボットのPR活動で実際にロボットを体感し、また一般の要望を性能向上に反映させていくことを目的として行われています。

豊橋技術科学大学が
開発のロボット
福祉村病院にて
実演会開催される

今後豊橋技術科学大学とさわらび会が協力し、より良い福祉機器を開発していくことを約束し、閉幕となりました。

(榊原)

見学者の興味を惹いたのは寺嶋教授の全方向移動車椅子で、その場での回転機能や平行移動が可能となっており、従来の電動車椅子では立ち回れない狭いスペースでも使えるよう開発されていました。また、見学者からも意見や質問が出され、寺嶋教授も熱心に耳を傾けておられました。

美智男教授の開発されているもので、特に、医療福祉の現場で働いている



●岡田美智男教授が開発した会話型ロボット

在宅医療福祉部会・高齢者担当会議 合同勉強会

◆特別養護老人ホーム 第二さわらび荘

さわらび会では「みんなの力でみんなの幸せを」という理念実現のため、「高齢者担当会議」「障害者担当会議」「在宅医療福祉部会」の3部会が相互に連携を取り、話し合いを進めています。

その中で、高齢の障害者の方が増え、今後生活する上での様々な課題が浮かび上がってきました。実際に介護保険事業所で高齢障害者が利用を断られるという事例も出ている事が分かりました。

そこで今回、あかね荘障害者支援センターの鈴木さんを講師としてお招きし、「知的障害者」をテーマに勉強会を開催しました。



今後もさわらび会だからこそ出来る「医療」「高齢」「障害」を超えた取り組みを進めていきます。

(東郡)

●当日は医療法人・社会福祉法人から30名の方が参加され、熱心に勉強会に参加されていました。

地域の皆様の声を大切にする取り組み

◆障害者支援施設 珠藻荘

11月28日(土)にさくらピアにて、豊橋市肢体不自由児父母の会と豊橋市との意見交換会が行われました。

会合の中では医療的ケアの必要な障害者への支援体制の充実、大規模震災時の避難所の問題、身体障害者の住まいの場の充実など、普段は施設の中だけでは聞くことの出来ない内容を、身近な声として聞くことが出来ました。そして、今回の意見交換会では、市役所の方もしっかりと耳を傾け、声を受け止めていると感じることが出来ました。

私達も今回の声を聞くだけではなく、今後の珠藻荘の運営の中にしっかりと取り入れ、より良い施設作りを目指さなくてはいけないと感じた会合でした。

(西井)



みんなの力で みんなの幸せを

— 世代と障害の種別を越えた交流、助け合いの風景



さわらび会では、世代も違えば障害の質も異なる方々が一緒に暮らしています。その中で一人ひとりが周りの人の役に立つ働きを見つけて頂くと、また相互に交流を図るということ。今回はこのような「みんなの力でみんなの幸せを」を実践、実現している風景をご紹介します。

ボランティアや

ご家族との触れ合い

特別養護老人ホーム 第二さわらび荘

左の写真は、夏休み親子福祉体験の様子です。子どもを見ると、お年寄りも自然と表情が和らぎます。今回の交流がいい刺激になって、子育て



てを一生懸命やっていた頃を思い出して、ご自分のお子さんやお孫さんの話をすすんでしてくださいようになられた方もおられました。子どもにとっても、布オムツをたたんだり、高齢者とお話することは新鮮だったようです。



続いて、家族会主催の夏祭りの様子です。ご家族や保育園の園児とお年寄りが、一緒に金魚釣りをしたり、ゲームをしたりと楽しく過ごしていただきました。祭りの華やかな雰囲気の中で、お年寄りもご家族もみんな自然に笑顔がこぼれました。夏祭りは毎年行われており、お年寄りにとっても職員にも楽しみな行事の一つとなっています。

・他の施設の友人達と交流 ・まわりの人の役に立つ活動

軽費老人ホーム 若菜荘

若菜荘入居者とケアハウスカサ・デ・ローザ入居者との交流の場の一つとしてクラブ活動を行っています。その一例として、演歌・カラオケ・絵手紙クラブなどがあります。

また、自分たちで出来ることでみんなのためになる働きができないかと、若菜荘の入居者のみなさんは、野依校区の素盞鳴社や福祉村公園の清掃活動を行っています。毎朝、有志により、福祉村内の清掃活動も



ており、きれいな福祉村に一役買っています。





若菜荘での清掃実習は、「きれいにしてくれてありがとう」「皆さんも元気でね!」と、声の掛け合いが始まります。毎日一時間足らずの触れ合いですが、利用者の皆さんも互いにやさしい顔になってきました。また、珠藻荘で生活する皆さんの洗たくを行う「洗たく実習」も慣れてきました。障害の種別を越えた交流があり、利用者の皆さんもたくさんの元気をもらっているようです。

珠藻荘の自治会は、珠藻荘の利用者の皆様が幸せに暮らせるよう、自分たちの生活を主体的に考えています。その自治会が今は珠藻荘だけではなく福祉村の皆様が幸せに暮らして頂くことも考えて活動しています。右の写真は自治会主催で開催した豊橋中央高校軽音楽部の演奏会の様子です。福祉村各施設より多くの皆さんが集まり、知っている歌を口ずさむなど、楽しい交流の時間を持つことが出来ました。



利用者の中には、親子で福祉村内の異なる施設を利用されている方もいらっしゃいます。その中でも大和田さん親子は、若菜荘、あかね荘でそれぞれ生活されていましたが、一緒に住みたいという夢を実現し、今は若菜荘で充実した生活を送っています。また、あかね荘では若松町の横田ご夫妻のご厚意により無償でお借りした畑で野菜、果物を作っています。そこに、今年から福祉村各施設の方も加わり、みんなで季節ごとに収穫の喜びを味わっています。



今年も、さわらび会は「みんなの力でみんなの幸せを」を合い言葉に、職員一同頑張ってます。よろしくお願致します。
(編集スタッフ)



園児は、患者さんやお年寄り、障害者と触れ合うことで、感性豊かで、思いやりや優しい気持ちを持った子どもに成長しています。子ども達の笑顔は福祉村の宝物です。

**みんなに励まされ
実習に取り組む仲間達**
障害福祉サービス事業所 明日香

**自分の施設だけでなく福祉村
全体を考える自治会活動**
障害者支援施設 珠藻荘

**いつまでも親子で暮らせる幸せ
・収穫の喜びをみんなで楽しむ**
障害者支援施設 あかね荘

**子ども達もお年寄りや障害者と
自然にふれあう環境**
福祉村保育園

山 本 左 近

2010年にむけて



左近が語る「交通安全への思い」

ヨーロッパを主な舞台に活躍を続けた2009年の左近選手。
新しい年に向け、セーフティードライビングフェスタにスペシャルゲストとして出席し、
一流ドライバーだからこそ伝えられる
交通安全の大切さについて熱く語ってくれた!!

ヨーロッパに拠点を置いてレースをする中、帰国時は様々な活動を行っている左近選手だが、今回、セーフティードライビングフェスタにN舞州にスペシャルゲストとして登場した。

このセーフティードライビングフェスタは、ただモータースポーツを楽しむだけでなく、健常者も障害者も交通社会の一員としての責任を自覚し、交通安全の大切さを考えるものである。

左近選手は、細くつくられたコースを、バックや方向転換をしながら回っていきそのタイムを計るジムカーナーの講師を務め、参加者の助手席に座り直接アドバイスをしていた。
トークショーでは、参加者に向けて大きく次の3点について語っていた。

①車は危険な乗り物だと認識してもらいたい。

限界まで攻めるレースよりも一般道の方が危険だということ。一般道では車だけでなくバイクや歩行者、トラックなど様々な要素があるため、いつで

もブレーキが踏めるように心がける。

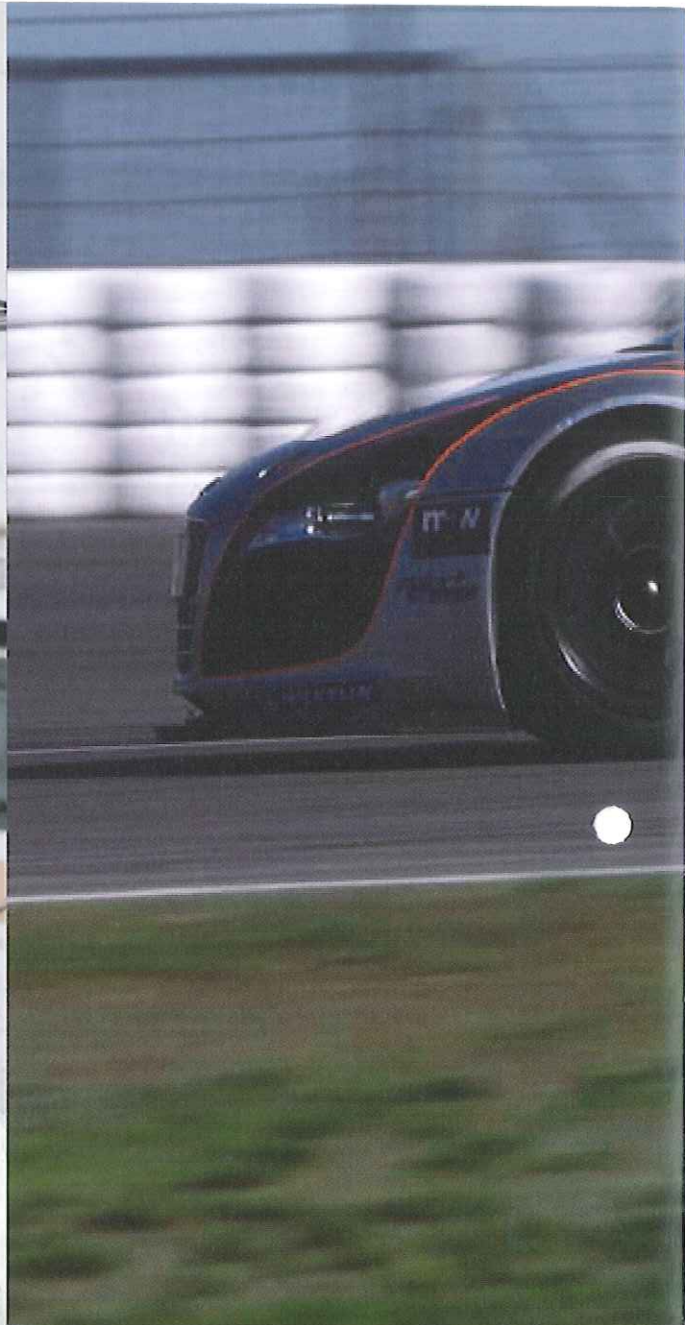
②一番重要なのは車間距離をあけること

どんなときも、前でも何かあっても安全に停止できるよう、速度に応じた車間距離が必要。とにかく車間距離があればとっさの対応もできる。

③車イス使用者用等駐車スペースへの意識

日本では徹底されていない面もあり問題に取り上げられているが、ヨーロッパにおいては車イス使用者等の駐車スペースに健常者が車を停めることはない。誰もが当たり前のモラルとして徹底されている。

このイベントの中で左近選手の意識の高さを物語る光景がみられた。それは、トークショーの際、車イスドライバーである勅使河原選手がステージの階段を上り下りするとき真っ先に介助をしていたのが左近選手であった。



「心のバリアフリーを
めざして」

今回のセーフティードライ
ビングフェスタの一つのテー
マである、このことに関して誰

よりも実践しているのが左近
選手であった。

交通モラルへの熱い思いを
胸に、左近選手の新しい一年が
始まった!!



俳句 浪漫

直筆の書で 季節を彩る

ジュゲム施設長・東京大学客員研究員
金井 芳之



冬至すぎ

畳に延びる

陽射しかな

冬至とは一年で最も日照時間が短い日のことを指す。冬至といえば直ぐに柚子湯（または柚湯）が思い浮かぶのであるが、最近では二日後にクリスマススイブがやってくるので、冬至・柚湯の存在感は薄れつつある。夜長を好む人もいることは否めないが、陽射しは長いほうが一般的には好まれよう。冬至に柚湯に入り、身体を温める風習はいつ頃出来たかは定かではないが、確かに身体がよく温まる。それを科学的にみれば柚子の皮からでる水溶性のテルペン（アロマトイルの化学成分の一つ）類だと考えられる。とまれ、柚湯で一区切り、次は一日と日照時間が長くなる。

よく観察すれば畳の間に射し込む日の光も心持ち長く感じられなくもない。ほのぼのと何か良いことが起こる予感にでも結びつけば最高である。



冬至すぎ
畳に延びる
陽射しかな



●福祉用具紹介のコーナー

前腕支持台付き 歩行車



歩行車

前腕を支持台にのせる事で足の負担を軽減します。

長時間の歩行も楽に行えます。

前腕支持台部分は、回転し背もたれになるため、座面に座って休憩ができたり、また通常の歩行器としても利用できます。



介護保険を申請されている方ならどなたでもレンタルが可能です。価格はお問い合わせ下さい。

問い合わせ先

福祉村指定居宅介護支援事業所

☎(0532)463566

さわらび指定居宅介護支援事業所

☎(0532)547377

福祉村病院訪問看護部

☎(0532)467511(代)

福祉サービズ株式会社

☎(0532)661011

(福祉村指定居宅介護支援事業所 鳥山)

いかり先生の
お遍路さん
 第42回
 小石を握った赤ちゃん
 福祉村病院副院長 伊莉 弘之

第五十番繁多寺から第五十一番熊野山石手寺へは三キロ徒歩五〇分、車で一〇分程だ。

石手寺は町中にある。七二八年に聖武天皇の勅願により行基開眼の薬師如来を祀って安養寺として開基した。その後ある事件が起こり石手寺と名前が変わることになる。有名な名湯道後温泉も近い。

駐車場は広々としているが、車は多いし人も大勢いる。遍路だけでなく観光客も多い。参道を進むと大きく重厚な仁王門がある。阿吽の金剛力士像も立派だ。石段を登り本堂へ向かう。本堂の東側にある三重塔が美しい。

境内の奥にある訶梨帝母天堂は子供を守る鬼子母神を祀つてある。妊婦はこの石を持ち帰り、無事に出産すると石を二つにして返すので、お堂の前には小石の山ができています。

本堂奥の宝物館には、石手寺の縁起とされる小石が安置されている。



托鉢僧姿の弘法大師に鞭を打ってしまい、その後、次々と子供を失い、罪をつぐなうために四国巡礼を始め



た衛門三郎は四国遍路の元祖といわれるが、その衛門三郎は二十一回目の遍路でようやく弘法大師と巡り合えた。息を引き取る寸前に大師から言い残すことはないかと尋ねられ「来世は国司の家に生まれたい」と言つて息絶えた。弘法大師は道端の小石に「衛門三郎再来」と書いて三郎の左手に握らせた。

その翌年に領主河野息利の家に男子が生まれたが、この男子は生まれたときから左手を開かず固く握ったままであった。父親が安養寺の住職に加持を頼んだ。住職が祈祷をするとその子供は手を開き、中から小石が出てきた。小石には「衛門三郎再来」という文字が書かれていた。それ以来、安養寺は石手寺と改められ、その小石は寺宝となった。

衛門三郎の話に小四の娘は「すごい」と感動していたが、中二の娘は「そんなことはあり得ない」と現実的だ。「あの黄色いタオルのお兄さんはどうして彩ちゃんの名前を知っていたのかねえ」と母。「不思議なことはあるものですね」と妻。その小石を眺めていると、この話は伝説ではなく、まぎれもない事実だったに違いないと思えた。

Vol. 24
 relay column
**さわらび会
 のわ**

福祉村病院薬局長
高橋 邦彰



日本には、四つの季節があることは御存知かと思いますが、北と南でその季節模様は、大きく異なります。冬といえば雪ですが、地球温暖化により年々降雪量は減少しています。

昔は、この辺りでも雪が積もったことがあったけど...と思う様になってしまつぐらい、雪が降る日も随分減りました。

太平洋側はもともと雪が少ない、確かにその通りです。

冬になるとしばしば、大陸からの寒気の吹き出しによる冷たい風が水分を含み、雪雲を発生させます。その雪雲が日本海側の山地にぶつかると雪を降らせ、水分を失った冷たい風が太平洋側へ吹きおろします。ですから、太平洋側には雪は本来あまり降りません。

寒気の強さにもよりますが、北風だと三重県北中部付近(津、四日市)で雪が降りやすく、北西風だと名古屋から豊橋等が降りやすいとされています。

あまりたくさん積もってしまうと困りますが、子供心が消えない私としては、たまにはやりたい雪合戦といったところでしょうか。

次回は、第二さわらび荘 看護師長 鈴木あきよさんです。

◆福祉村病院・シユゲム

- 11月17日 豊橋市社会福祉協議会主催の介護者教室(つじが丘地域福祉センター)にて伊対弘之副院長が「認知症のケアについて」講演
- 19日 感染対策委員会
- 第9回福祉村サミット(ホテルアソシア豊橋)に理事長出席(20日)
- 橋詰先生によるCPC
- 名古屋市中村区および中村保健所主催の認知症講演会(中村文化小劇場・名古屋市)にて伊対弘之副院長が「認知症 支えて 支えられて まちづくり」について講演
- 25日 医療安全委員会
- 臨時感染対策委員会
- 27日 早稲浦集会議(理事長出席)
- 30日 インド福祉村協合理事会(名古屋市長出席)
- 12月1日 誠寺)に理事長出席
- 3日 社会福祉協議会評議員会(理事長出席)
- 歳末たすけあい義援金配分委員会(理事長出席)
- 27日 豊橋創造大学の講師(福祉村病院大会)として伊対弘之副院長が「医学的側面からみた認知症の基礎」について講義
- 5日 愛知県老人保健施設協会東三河ブロック看護介護部会研究発表会(シユゲム主催)
- 医療法人さわらび会忘年会(出雲殿)に理事長出席
- 7日 歳末たすけあい街頭募金(理事長出席)
- 8日 豊橋市社会福祉協議会主催の認知症座談会(つじが丘地域福祉センター)にて伊対弘之副院長が助言
- シユゲム幹部会
- 10日 共同研究打合せのため、国立大学法人豊橋技術科学大学梅学長ら、福祉村病院訪問
- 看護部主催の医薬品安全管理研修会にて高橋薬局長が「麻薬の取り扱いについて」講演
- 11日 施設長会議(シユゲム)に理事長出席
- 12日 日総研主催の公開セミナー(「MYピル」名古屋)にて伊対弘之副院長が「認知症ケアマスター」について講義
- 14日 名古屋市老年大学鶴城学園(名古屋)にて伊対弘之副院長が「認知症介護」について講義
- 15日 感染対策委員会

◆さわらび荘

- 11月17日 愛老協施設長会議(施設長 名古屋)
- 保健師等研修会(松下 保健所)
- 18日 職種別ケア会議(松下 あいトピア)
- 外部評価事業者説明会(白井有 名古屋)
- 20日 若情解決制度第三者委員研修会(渡邊 名古屋)
- 福祉の就職総合フェア(施設長・土井 名古屋)
- 23日 愛知県・豊橋市指導監査
- 職種別領域ケア会議(勝山 あいトピア)
- 25日 老人ホーム三河部特養施設長会議(施設長 ライフポートとよはし)
- 26日 愛知県GH協役員会・研修会(村田直・鈴木富 名古屋)
- 27日 愛老協在宅委員会(施設長 名古屋)
- 愛介連東三河ブロック研修会(白井秀・浅見・日下部・勝山・松井・千駄 ライフポートとよはし)
- 12月2日 全国老人福祉施設研究会(藤原 柴田竹 鹿児島 3日)
- 浪ノ上老人クラブ定例会(松下 浪ノ上区画整理記念館)
- 7日 白珠家族会・運営推進会議
- 8日 愛知県老協21世紀委員会(施設長 刈谷)
- 9日 地域包括・在宅介護支援センター職員研修会打合せ会(白井 名古屋)
- 11日 認知症介護管理者研修(志村 岡崎)
- 14日 牛川・下冬民生委員定例会(松下 勝山 青陵地区市民館)
- 15日 「輝く人の話を聴く会」(藤原 渡辺意鈴 名古屋)
- 14日 豊老協施設長会議(施設長)
- 15日 認知症サポーター養成講座
- ◆第二さわらび荘・カサデローザ
- 11月16日 県社協豊橋市陳情(山本施設長)
- 17日 愛老協施設長会議(山本施設長 名古屋)
- 22日 インドネシア人介護士候補者交流会(山本施設長 小田原)
- 24日 防災設備点検
- 25日 県社協中期経営計画策定委員会(山本施設長 名古屋)
- 26日 老人ホーム三河部特養施設長会議(山本施設長 ライフポートとよはし)
- 27日 三河部養護老人ホーム施設長会議(山本施設長 豊田)

◆珠藻荘

- 12月2日 全国老人福祉施設研究会(山本施設長 長坂 萩原 野崎 鹿角兄弟 3日)
- 6日 セーフティドライブングフェスタ(山本施設長 大塚)
- 8日 愛老協21世紀委員会(山本施設長 長坂 刈谷)
- 9日 県社協社会福祉施設委員会(山本施設長 名古屋)
- 10日 インドネシア人介護士交流会(井上 小本 小田原)
- 11日 西尾福豆広域連合業務課職員他見学
- 14日 インドネシア人介護士受入シンポジウム(井上 東京)
- 15日 豊老協施設長会議(山本施設長 奈良)
- 15日 市事業者連絡会運営委員会(山本施設長)
- 11月16日 身障協リーダー職員養成研修会(木下 東京 17日)
- 24日 年末調整説明会(黒柳 豊橋市民文化会館)
- 25日 自立支援協議会相談支援専門部会(施設長 市役所)
- 12月2日 自治会役員会
- 10日 養護学校道路懇談会(松井伸 豊橋養護学校)
- 障害者自立支援協議会地域移行促進専門部会(田中 鳥居 市役所)

◆若菜荘

- 11月16日 宗教講話
- 17日 愛老協施設長会議(施設長 名古屋)
- 19日 懇談会
- 24日 喫茶ななかよし
- 26日 誕生会
- 27日 防災訓練
- 12月1日 インド福祉村協合理事会(施設長 名古屋)
- ◆全国老協職員研究会(金子 鹿角 島 3日)
- 2日 各施設会議
- 4日 若菜会地域活動日
- 7日 若菜会役員会
- 11日 食生活会議
- 14日 西尾福豆広域連合業務課職員他見学
- 15日 懇談会
- 15日 豊老協施設長会議(施設長)
- 11月16日 喫茶ななかよし

◆あかね荘

豊橋市指導監査

◆明日香

- 12月4日 ケース会議
- 21日 新城大谷大学にて販売鈴木(22日)
- 24日 工賃増進会議(施設長 山本)
- 26日 会計研修(藤井 名古屋)
- 26日 愛知県知的障害者関係施設職員研究会(山本 ホテル日航豊橋 27日)
- 28日 イトーヨーカドー販売(末松)
- 28日 回診日
- 27日 クラブ活動日
- 28日 エイローレシート交換(末松)
- 12月11日 商品販売研修会(山本 名古屋)
- 12日 田原ジャスコ販売(市川)
- 15日 木蔭会計監査

◆しろがね

- 11月18日 視覚障害者移動支援事業従事者資質向上研修(福山 名古屋)
- 24日 障害基礎講座(八木沼 岩崎学園)
- 30日 TFM合唱団による音楽サークル
- 12月1日 南陵中学校職場体験学習受け入れ(名 4日)
- 7日 さなえ会おやつ奉仕
- 8日 TFM合唱団による音楽サークル
- 8日 療育支援研修会(八木沼 半田)
- 10日 相談従事者研修(福山 名古屋 11日)

◆各施設共通

- 11月17日 グリーンロード整備
- 19日 第9回福祉村サミット(20日) ホテル(アソシア豊橋)
- 26日 在宅医療福祉部会
- 12月1日 善銀サナタ施設訪問(2日, 4日)
- 7日 歳末たすけあい街頭募金
- 8日 枯草火災消火訓練
- 9日 障害者担当会議
- 9日 大規模震災時安否確認作業部会
- 11日 施設長会議
- 14日 次世代ロボット(生活支援ロボット)の実演会
- 15日 グリーンロード整備

さわらび会後援会寄附ご芳名

平成21年11月15日～12月14日

	大和田和恵氏	200,000円
市内花園町76	野田豊氏	10,000円
市内牧野町90	小松ウメ氏	5,000円
東京都新宿区左門町9	(財)国民保健会	10,000円
市内雲谷町ハシツメ7-9	近藤亘弘氏	60,000円
市内入舟町21	(株)三恵薬品	20,000円
新城市南畑74	光田屋(株)	10,000円
市内野依町字西物草12	家具の街ヨコモランド	10,000円
市内小池町36-1	共和印刷(株)	5,000円
市内高塚町神田68	田京敏明氏	5,000円
市内中岩田三丁目11-3	白井良治氏	1,000円
市内弥生町字西豊和9-9	林 昭氏	10,000円
市内萱町30	(株)中野新松商店	10,000円
市内瓜郷町前川50-1	鈴木弘生氏	10,000円
市内間屋町15-5	(株)スズケン	10,000円
市内東田町154	(資)竹田商店	10,000円
市内東脇三丁目1-17	森田由利子氏	10,000円
市内白河町100	中部ガス(株)	10,000円
市内神野埠頭町2	神野臨海(株)	10,000円
市内東雲町47	梅村敏夫氏	16,000円
市内東新町314	(株)日医工新和	10,000円
市内野依町山中19-14	福祉村病院職員有志	3,000円
	さわらび会共同行事	5,940円
	匿名希望氏	50,000円
	匿名希望氏	30,000円
	匿名希望氏	10,000円
	匿名希望氏	10,000円
	匿名希望氏	20,000円
	匿名希望氏	20,000円
	匿名希望氏	10,000円
	匿名希望氏	10,000円

その他匿名希望多数の方よりご寄附頂きました。
計 **610,940円**
現在までにご寄附いただきました金額は
828,735,694円

ご寄付は、さわらび会の病院・施設なら、どこでも受け付けております。皆様の御協力をお願い致します。

みんなの力でみんなの幸せと

社会福祉法人

さわらび会後援会からの
お願い

さわらび会後援会では、広く社会の善意のある方々に後援会員になっていただき、そのあたたかい浄財をもって福祉村の建設並びに運営していくよう支援しております。

皆様方の、ご入会を心からお願い申し上げます。

後援会会長 神野信郎

●お問い合わせは 珠藻荘 ☎(0532)47-1050まで

インド福祉村協会寄附ご芳名

平成21年11月11日～12月10日

名古屋市千種区自由ヶ丘3-2-1202	廣田耕作氏	5,000円
名古屋市中区新栄1-7-12	東海労働金庫	3,200円
大阪府岸和田市小松里町947-7	小野剛賢氏	3,000円
大阪府岸和田市宮本町28-22	薬師院 阿字観教室	5,000円
名古屋市昭和区山花町50	医療法人 生寿会 理事長 酒井宏氏	50,000円
岡崎市康生町631	大野正義氏	10,000円
瀬戸市原山町120	山口健氏	5,000円
岡崎市大門4丁目2番地	佐々良次氏	100,000円
岐阜県恵那市山岡町下手向1796	高綱健太郎氏	10,000円
愛知県長久手町長湫片平23-182	山之内国男氏	5,000円

募金方法(インド福祉村) 計 **196,200円**

■振込先 郵便局 ゆうちょ銀行・振替口座
口座番号00830-2-65008 加入者名 インド福祉村協会
■連絡先 軽費老人ホーム若菜荘 ☎0532-48-1138まで

歳末たすけあい募金

さわらび会では利用者の皆様、職員で募金活動を行い豊橋市社会福祉協議会を通じ共同募金会へ寄付させて頂いております。ご協力ありがとうございました。

今年の募金総額 **330,437円**

滑り台付きジャングルジムのご寄付

豊川市の伊藤妙子様より福祉村保育園に滑り台付きジャングルジムのご寄付を頂きました。子ども達は大喜びで早速たのしく遊んでいます。どうもありがとうございました。



＊お礼コーナー ありがとうございました＊

※印は豊橋善意銀行を通して

- ▼善銀サタ様訪問 お菓子・日用品寄贈※
(さわらび荘・第二さわらび荘・明日香・あかね荘・珠藻荘)
- ▼山光青果(株) りんご※(明日香・若菜荘・珠藻荘・第二さわらび荘・しるがね・あかね荘・さわらび荘)
みかん※(明日香・あかね荘・第二さわらび荘)
- ▼さなえ会様 ウェス材料(明日香) ▼藤ノ花女子高等学校 車イス寄贈(さわらび会)
- ▼ジャスコ豊橋南店様 DVDボックス、DVDプレイヤー、みかん(あかね荘)、
デジタルカメラ(明日香)、クリスマスツリー・掃除機(珠藻荘)
- ▼荻野陽三様 ビーマン・プロックロー (珠藻荘)

謹賀新年



「とら」 平木場郁央 (明日香利用者)

色鉛筆を使ったペン画が得意です。アニメのキャラクターや、動物を描くことが大好きです。

2010年1月1日発行 早蕨 第441号 毎月1日発行
 (昭和62年2月21日第三種郵便物認可)
 編集責任者・江川和郎 印刷・共和印刷(株) 定価・100円

充実した医療と福祉 みんなの力でみんなの幸せを

社会福祉法人 さわらび会 理事長 山本 孝之
 医療法人

- 特別養護老人ホーム さわらび荘
 富(0532) 54-3501
 法人本部 豊橋市浪ノ上町7-2
- 特別養護老人ホーム 第二さわらび荘
- ケアハウス カサ デ ローザ
 富(0532) 37-1209
- 軽費老人ホーム 若菜荘
 富(0532) 48-1138
- 障害者支援施設 珠藻荘
 富(0532) 47-1050
- 障害者支援施設 あかね荘
 富(0532) 48-2825
- 福祉村病院
 富(0532) 46-7511
- グループホーム白珠
 富(0532) 66-0082
- 障害福祉サービス事業所 明日香
 富(0532) 46-6579
- 福祉村障害福祉サービス事業所 しろがね
 富(0532) 48-1032
- 福祉コンビニ(東雲町)
 富(0532) 69-5666
- 第二福祉コンビニ弥生
 富(0532) 38-9090
- さわらび会障害者居宅介護事業所 田原
 富(0531) 24-0722
- 福祉村老人保健施設 ジュゲム
 富(0532) 46-7501
- 田原市障害者生活支援センター(市委託)
 富(0531) 45-3828

「表紙写真」北野天満宮

編集後記

特集ページに掲載させて頂いた「みんなの力でみんなの幸せを」の風景、いかがだったでしょうか？人と人が自分の事だけではなく相手の事を思いやり、そして行動する。これは思うことは出来ても実際に行動に移すことは意外に難しいものです。しかし、そんな風景を日常的に見ることが出来るのが福祉村です。人間関係が希薄になつてきたと言われている今の社会です。さわらび会はいつまでもふれあい、交流を大切にしたい。「幸せ」の発信基地でありたいと思います。そしてこのさわらび会も皆さんの家庭に「幸せ」を運ぶお手伝いが出来れば幸いです。今年もどうぞよろしくお願ひ致します。

(江川)